

# 04 内閣府を知る

内閣府に期待される役割・機能を果たすために、職員一人一人の能力が十分に発揮されるよう、「働き方改革」と「DX」を両輪として推進しながら、人材育成の取組を実施しています。ここでは、職場としての内閣府の各種取組等をご紹介します。

## 働き方改革・DX

知恵の場であり、企画立案・総合調整機能を有する内閣府は、各省庁、民間、自治体からの出向者等が多く活躍している、ダイバーシティに富んだ組織です。そのため、様々な専門性や背景を有する職員一人一人が生き生きと活躍できるよう、働き方改革やDXの推進に取り組んでいます。

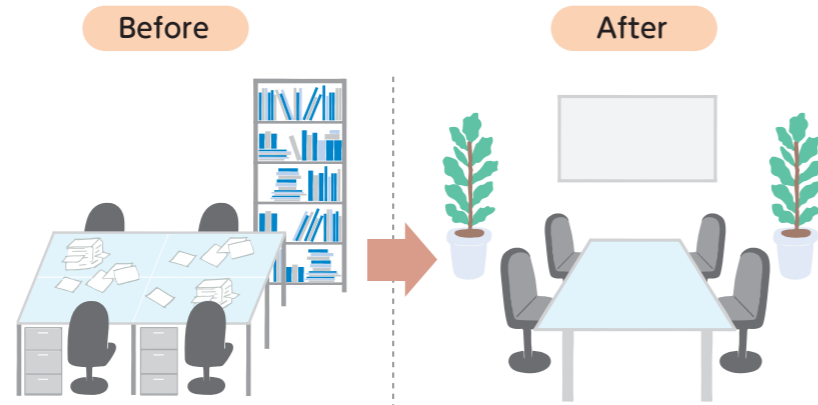


## デジタル環境の変化。スマホも活用

内閣府では令和6年に、行政の生産性向上や情報セキュリティの強化、職員の柔軟な働き方の促進のため、政府共通の標準的なPCやネットワーク環境（ガバメント・ソリューション・サービス（GSS））を導入しました。これにより、デジタル環境が大きく変化したことで、チャットや自動化のためのアプリケーションの活用、テレワーク時における個人所有のPCやスマートフォン・タブレットの業務への活用（BYOD）など、業務効率化の幅が広がり、柔軟な働き方、コミュニケーションの活性化が進んでいます。また、職員のデジタル・リテラシー向上のため、各種研修や勉強会も開催しています。

## オフィス改革

働き方改革の取組の一つとして、オフィス環境の改善を進めています。「断捨離週間」などを通じて不要な文書や棚などの整理・廃棄に積極的に取り組み、その結果確保できたスペースに、新たに打合せスペースやミーティングブースを設置しました。



## 働き方改革・DX推進室

内閣府は令和4年、大臣官房に働き方改革・DX推進室を設置しました。働き方改革・DX推進室では、1on1ミーティング、管理職クラスへマネジメントや職場の状況をフィードバックするための「多面観察」の実施推進、「学習する組織」の定着促進など、組織マネジメントの在り方についての取組も進めています。「内閣府のミッション」を実現するため、職員が生き生きと働ける職場環境づくりにこれからも取り組んでいきます。

## 内閣府の人材育成

内閣府が政府全体の「知恵の場」として、役割を果たすためには、職員の政策企画立案力、分析力等の向上が必要不可欠です。そのため、知識やスキルを高め、職員同士の人的ネットワークを構築することを目的とした研修・育成課程を実施しています。基礎的な技術や、業務に関する知識を身につける講座から、各職員のレベルに応じて、より専門性を高めるプログラムまで、幅広い機会があります。

## 内閣府人材育成の主な取組

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
若手向け研修	新採用職員研修						2年目職員研修					
EBPM研修	オンデマンドで受講可能なeラーニング講座を通年実施											
実務研修	国会研修							国会研修				
			法制執務研修									
	公文書管理、個人情報の適切な管理、情報システム・セキュリティ、広報等に関する研修（随時又はeラーニング）											
技能育成・向上プログラム							プログラム実施					
経済分析等に役立つExcel技能研修					Excel基礎 Excel（マクロ・VBA）初級～応用			Excel基礎 Excel（マクロ・VBA）初級～応用				
経済社会関連統計研修	GDPを学ぶ（初級～応用）							アンケート調査入門 標本調査入門				
			季節調整法研修									
経済理論研修					前期経済理論研修					後期経済理論研修		
計量経済分析研修					計量経済分析演習（基礎編）		計量経済分析演習（応用編）	時系列分析演習				
							パネル分析演習					
学会、国際会議への参加		日本経済学会（春季大会）での発表				日本経済学会（秋季大会）での発表	OECD WP1での発表			アメリカ経済学会年次総会参加	OECD WP1での発表	

## EBPM研修

EBPMは全ての行政官にとって不可欠なスキルであるとの認識のもと、内閣府では、政策の前提となる関連事実と政策課題の的確な把握、具体的政策の内容とその効果をつなぐ論理、政策効果とそのコストの関係の明示等、EBPMの基礎的知識をオンデマンドで受講可能な研修を行っています。

## 技能育成・向上プログラム

内閣府内の先輩職員等が育成主任となり、約半年間にわたりゼミのような形式でディスカッション、演習等を行うプログラムを実施し、実務に資する知見・技能の継承を図っています。

（2025年度開講プログラム）

- 法案の立案及び作成
- 金融政策の多角的レビューをレビューする
- 国際機関における経済政策論・分析の潮流
- 経済見通しの作成
- SNA入門 ● American Economic Review 輪読
- 伝わる広報 ● 行政広報の実践と知恵

ワーク・ライフバランス

職員が仕事と家庭を両立できるよう、様々な支援制度が用意されています。育児休業中の職員の声もご紹介します。



パパ・ママ予定届

妊娠が判明したらパパ・ママ予定届を提出することにより、職員が上司に気兼ねなく相談し頼ることができ、産休・育休を取得しやすい環境を整備しています。



テレワーク

子育てや介護の関係で勤務条件に制約がある職員でも、そうでない職員も、柔軟な働き方ができるよう、テレワークを推進しています。



サークル活動

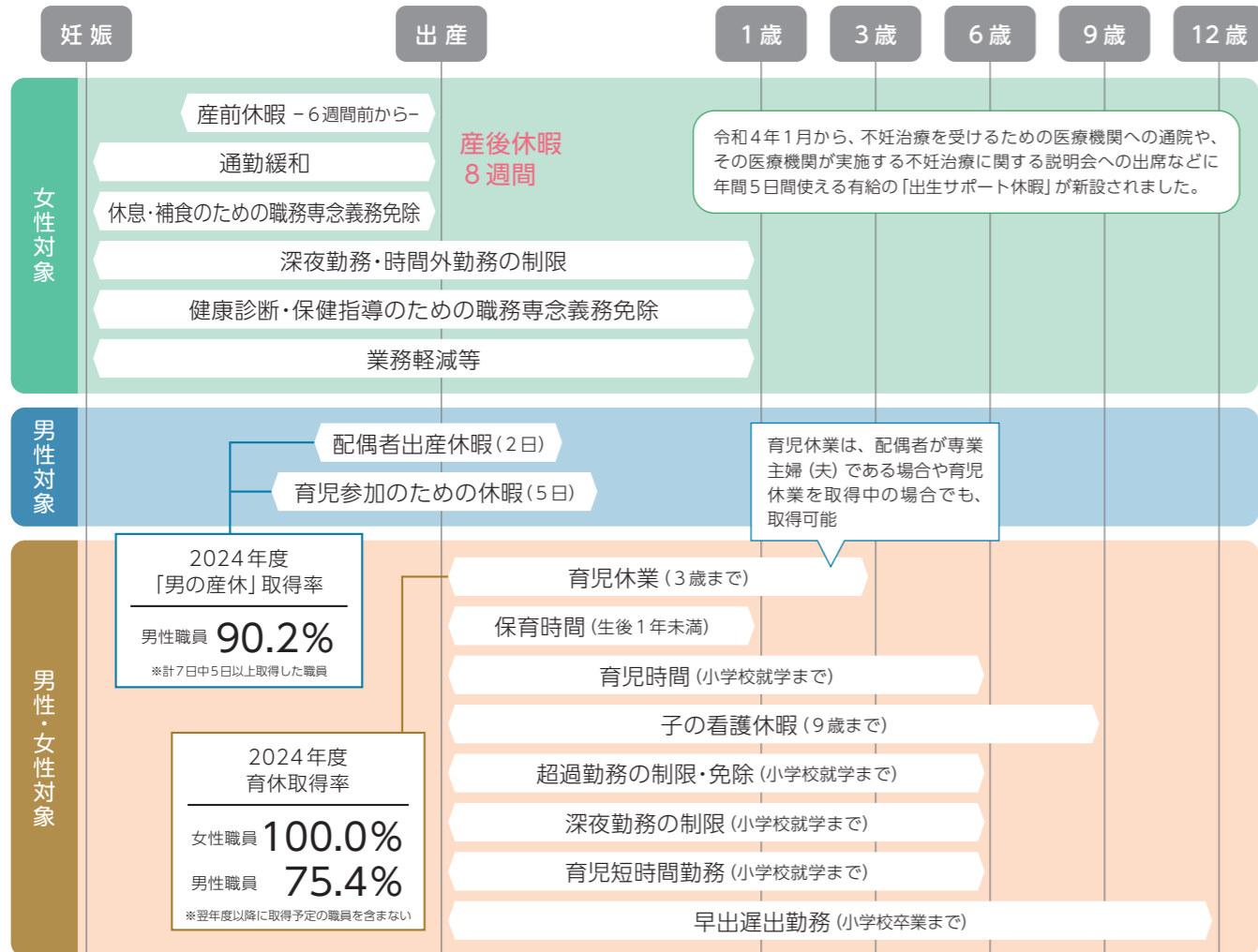
内閣府では、有志の職員がサークルを結成し、活動しています。野球部、書道部、ヨガ部など様々なサークルがあり、年代や職位にこだわらない、趣味や興味でつながる交流の場となっています。



山崎 希美 Yamasaki Nozomi

育児休業中

- 平成 21 年 採用  
政策統括官(沖縄政策担当)付参事官(総括担当)付  
企画調整第1担当主査付
- 平成 23 年 大臣官房NPO新認定制度準備特命室  
同年 北方対策本部企画係
- 平成 25 年 資源エネルギー庁資源・燃料部石油精製備蓄課企画調整  
第2係長
- 平成 27 年 内閣官房内閣総務官室企画第2担当主査
- 平成 29 年 育児休業
- 平成 30 年 男女共同参画局推進課課長補佐(女性活躍推進担当)
- 令和 2 年 内閣官房皇室典範改正準備室室員
- 令和 4 年 育児休業  
同年 (内閣官房皇室典範改正準備室室員)
- 令和 7 年 育児休業



育児休業活用中

2025年6月に三男が誕生し、現在育児休業中です。8歳(小2)の長男と3歳の次男もいるので、家事と育児で毎日があっという間ですが、笑い声の絶えない賑やかな時間を過ごさせてもらっていると感じています。実は、次男の誕生時には、私の育休取得によって私に家事・育児が集中するよりは、早く我が家の分担ルーティーンを確立させる方がいいだろうと、ほとんど育休を取らず、産前休暇から約3か月半で職場復帰をしました。私としては、職場への負担や自身のキャリア中断も最小限にできると考えてのことでしたが、なかなか体力的にも精神的にも厳しく、同僚たちにも色々と気遣いをさせてしまったと感じていました。この経験から、今回は約1年育休をいただき、3人を育てながら仕事を続けていくことを見据えて、家庭の土台を固めているところです。

職場からの応援

今、このような前向きな気持ちでいられるのは、妊娠の報告をした時、当時の上司や同僚、人事課の方々に、ただ「おめでとう」と喜んでいただいたことも大きいと思います。育休取得の後ろめたさや復帰への不安がないわけではなかったので、とても心が軽くなりました。私も、このような温かい職場風土を形成する一員でありたいと思っています。

経験を政策に

今回の出産・育休によって新たな気づきがあったのは、3人目となると様々な場面で上の兄弟たちの生活との調整が必要になり、これがなかなか大変、ということでした。例えば、出産の頃のことですが、入院時の保育園送迎や退院後の生活をどうするか、使える制度を色々調べて家族会議をして、結局、実家のサポートの下、次男を連れて3か月ほど里帰りし、その間、夫と長男は夫の両親の

協力を得て二人暮らしを頑張りました。この頃を支えてくれた全ての方には感謝しかありません。私は、誰もが希望通り子どもを育てていける社会を理想と考えていますが、今回経験した様々な壁が、私の想像の及ぶ範囲を広げ、課題の解像度を上げてくれました。今後どの政策に携わることになっても、内閣府の仕事は、この国の未来のための仕事です。これまでの経験を生かして、政策の企画立案で社会に還元できればと考えています。

内閣府を志望した理由

日本という国が、子どもたちの笑顔あふれる国で在り続けるようにしたいと考えたから。

これまでに上司・同僚・部下に言われた、印象的な言葉

入府したばかりの頃、直属の上司である参事官補佐に、「これが社会のためになる、と考えたことなら、躊躇せずにやってくださいね。もしそれで怒られても僕が謝りますので。」とっていただいたこと。

MESSAGE

内閣府に興味を持ってきてありがとうございます！決して楽な仕事ではないですが、社会課題の解決に役に立つと思える仕事ができる職場です。一緒に働けることを楽しみにしています。

## 1年目職員に聞きました！

2025年度に入府して、ちょうど1年ほど内閣府で過ごした1年目職員に聞きました。



## Q1 内閣府を志望した理由は？

- 重要政策の企画立案・総合調整を通じて、問題本位で政策課題に向き合うことができる組織だと思ったからです。
- 規制改革や対日直接投資推進を通じて、日本をより豊かにしたいからです。官庁エコノミストとして、日本・世界経済を分析し、幅広い分野の問題提起をしたいからです。
- 元々防災政策に関心があり、加えて大学では共生社会政策や地方創生政策等について学んでいたため、幅広い政策分野に関わることで内閣府を志望しました。
- 大学でこれといった専門性もなく、将来やりたいことも特に見つからない中、内閣府ではさまざまな業務に携わることができ、経験を積めると考えたからです。
- 他省庁の説明会に参加していく中で、長いキャリアを通して分野横断的に様々な分野の業務に携わりたいと感じるようになり、様々な省庁との関わりのある内閣府を志望しました。
- 内閣府が沖縄振興を担っている官庁だからです。日頃から沖縄のために貢献したいと考えていたため、自分が沖縄のために働ける場所はどこかと考えた際に内閣府があったため志望しました。
- 内閣府であれば、特定の政策領域にとらわれることなく、行政にしか解決することのできない問題をより俯瞰的な視点で捉え、国のグランドデザインを描くことができると考えたからです。全体最適の視点を持ち、考えられるだけの対策を検討し、他省庁へアプローチすることで課題解決の実現を目指すとともに、目指すべき社会像を明確に打ち出していくことができると考えました。
- 政治との距離が近く、世の中の動きの中心で働けるからです。動き始めてそれを実感しています。

## Q2 1番印象に残っている仕事は？

- 骨太の方針の取りまとめです。関係各所との調整を経て、年間の取組が形となっていく瞬間を垣間見ることができる激動の数週間でした。
- GDPの公表を行うにあたり、随行で官房長官秘書官にレク(ご説明)に伺ったことです(官邸の中はとても趣がありました)。
- 統計を利用して、資料作成をしたことです。政治家の方々にもご確認頂き、内閣府として伝えたいことを理解して頂けたのではないかと思います。
- 防災功労者表彰に係る業務です。総括業務の中では比較的長い案件で、受賞者選定から当日の運営まで全体を通して担当しました。当日は受賞者の皆様に喜んでいただくことができ、非常に達成感を覚えました。
- 政府広報の仕事の一環で、テレビ収録に行けたことです。実際にテレビの収録現場に足を運び、どのようなプロセスで番組が作られていくのかをみることができ、勉強になりましたし楽しかったです。
- 5月に内閣府主催のイベントがあり、配属後すぐに運営に参加しました(当日は首相も参加・会場を巡回し、すぐ後ろでマイクのスピーカーを持ってついていきました)。
- 特に挙げるとすれば豆記者交流団\*の対応をしたことです。中学生の時に参加し訪問した内閣府で、職員として後輩を受け入れられたのは感慨深かったです。  
\*沖縄県のこどもたちが本土を訪れて行う取材活動
- 入府してすぐに、骨太の方針の案文審査を行ったことが非常に記憶に残っています。
- GDPの推計結果が新聞やニュースで取り上げられているとき、自身が携わっている業務に対してやりがいや達成感を感じました。

## Q3 内閣府にはどんな職員が多い？

- 周りの人と上手にコミュニケーションをとって仕事を進める人が多い印象です。
- 自分なりの実現したい社会像がある人が多いです。所管している分野が幅広いので、いろんな考え方の人がいます。
- それぞれ違ったバックグラウンドや趣味・趣向を持っているが、落ち着いている人が多い印象です。
- 柔らかい雰囲気です話やすく、趣味等も含め色々なことに興味を持つ方が多い印象です。
- 比較的穏やかな人が多いかと思います。また、勉強熱心な人が多く、圧倒されることもあります。
- 明るくてタフだけど干渉しすぎない人が多いです。
- 個性豊かでおおらかな性格の人が多いです。
- 分からないことがあっても丁寧に教えてくれる、優しい人が多い気がします。
- 他省庁と比較して、様々なパーソナリティを持っている人が多い印象を受けます。

## Q4 10年後の目標は？

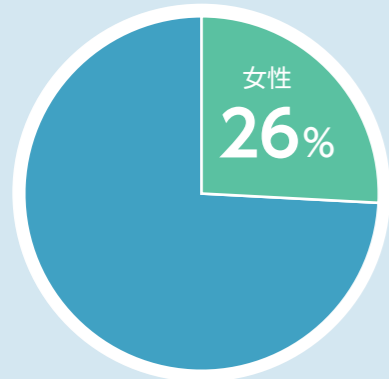
- 関係者の間に立つことを恐れず、物事を前に進める判断と調整ができる人材になることです。
- 10年後は対外的に説明する機会が増えると思うので、多くの人々が納得できるような資料作成力とコミュニケーション能力を磨いて、しっかり自分の提案を理解してもらおうことです。
- 官庁エコノミストとしてのハードスキル(分析・研究能力)を身に付け、それを生かしたいです。
- 幅広い業務に従事することで、どの分野にいても活躍できるような知識と経験を持ち合わせた職員になりたいです。
- 今上司にものごく面倒を見てもらっているのを、同じように新人の面倒を見られる頼れる上司になりたいです。
- 入府したときの気持ちを忘れず日本のために貢献できるような人物でありたいです。
- もっと数字を扱っているいろいろな資料を作成していきたいです。
- 「より良い社会」を実現するためのグランドデザインを描くために、多角的に物事を見据える力を持つように、日々の業務に真摯に励んでいます。

## Q5 読者のみなさんへ一言！

- 内閣府は官邸とも近く、政治的にもダイナミックな仕事ができると思います。ぜひ一緒に働きましょう！
- 就職活動は大変ですが、たくさん話を聞いて、不安や疑問点を一つずつ解消していくのが良いと思います。心から応援しています！！
- 興味を持っていただけの方は、ぜひ内閣府にいらっしゃってください。お待ちしております！
- 堅苦しいだけのイメージがある公務員ですが、意外と「人」が面白いと思います。説明会などに足を運んでみてください。
- ゆっくり、落ち着いて、いまを楽しんでください！
- 内閣府が所掌する分野は幅広く面白いと思いますので、是非色々調べてみてください。
- 内閣府でしかできない仕事、ほかの省庁でしかできない仕事などいろいろありますので自分に合った仕事を探してみてください！
- 様々な業務に触れることを通じて、多くの刺激と成長の機会をいただけていると感じています。そのような職場で働きたいという方には内閣府はピッタリだと思います！

データで見る内閣府

職員数 (2025.7.1)



2,583人

※内閣府本府(沖縄総合事務局含む)在籍の職員数。

白書 (2025)

白書とは、行政活動の現状や対策・展望などを明らかにした年次報告書。

7冊

- 経済財政白書
- 原子力白書
- 防災白書
- 高齢社会白書
- 障害者白書
- 交通安全白書
- 男女共同参画白書

役職別の女性職員割合 (2025.7.1)

- 本省係長相当職 **33.6%**
- 地方機関課長・本省課長補佐相当職 **16.3%**
- 本省課室長相当職 **14.2%**

◆ 女性職員が就いている指定職

- 男女共同参画局長
- 大臣官房審議官(共生・共助担当)
- 大臣官房審議官(大臣官房、賞勲局及び男女共同参画担当)
- 日本学術会議事務局次長

係長相当職：行(一)3～4級  
地方機関課長・本省課長補佐相当職：行(一)5～6級  
本省課室長相当職：行(一)7～10級

政策会議等 (2025)

◆ 重要政策に関する会議

- 経済財政諮問会議
- 総合科学技術・イノベーション会議
- 国家戦略特別区域諮問会議
- 中央防災会議
- 男女共同参画会議

◆ 審議会等

- 公文書管理委員会
- 障害者政策委員会
- 公益認定等委員会
- 沖縄振興審議会
- 食品安全委員会
- 消費者委員会 等

働き方

年次休暇平均取得日数 (2024年) **14.6日**

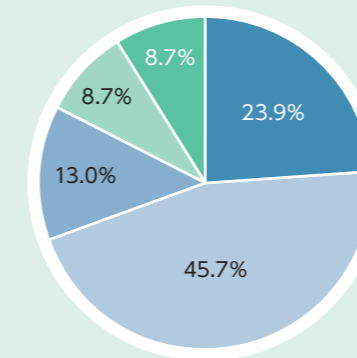
平均超過勤務時間 (2024年) **28.89時間**

育児休業取得率

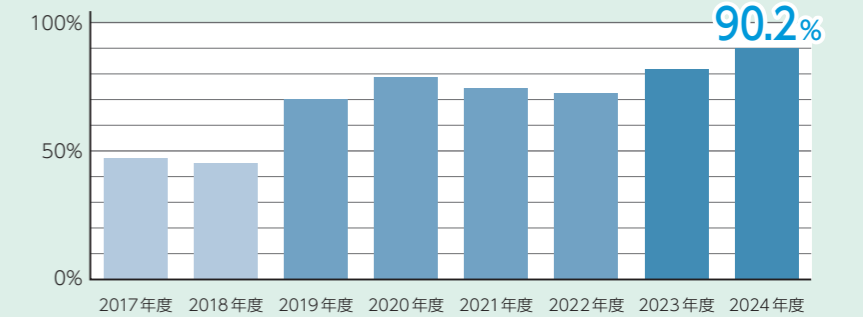
男性 **75.4%**  
女性 **100%**

※翌年度以降に取得予定の職員を含まない

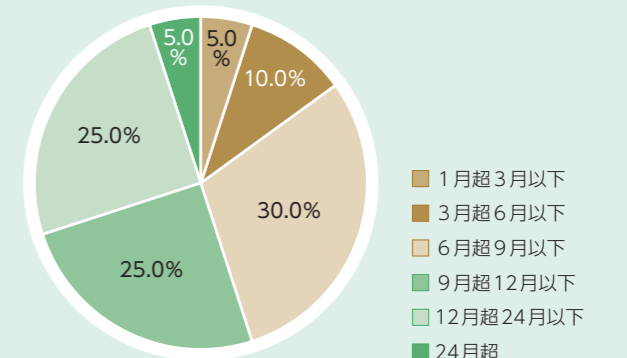
令和6年度 男性の育児休業取得期間



男性の配偶者出産休暇等の合計5日以上取得率



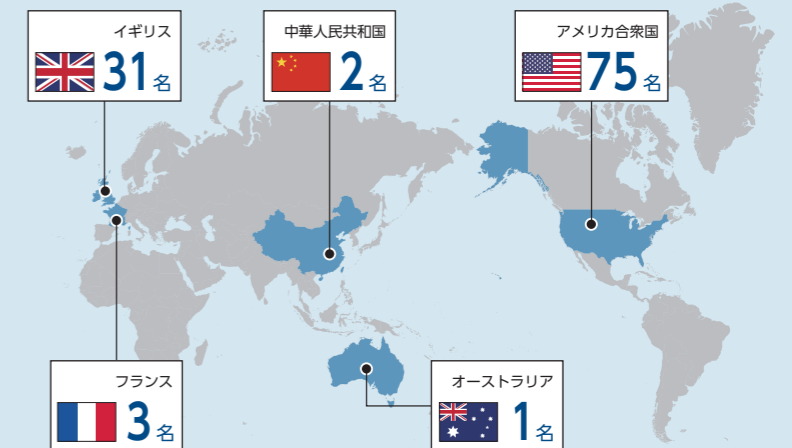
令和6年度 女性の育児休業取得期間



留学者数

(長期在外研究員派遣) (2001～2025年度)

合計 **112名**



データで見える職場環境 女性活躍推進法「見える化」サイト



内閣府男女共同参画局で運営している「女性活躍推進法「見える化」サイト」では、国・地方公共団体における女性活躍状況や働きやすさ等に関する情報を一覧化して、掲載しています。例えば、採用者や管理職の女性割合、男性・女性の育休取得率、男女間の給与の差異等、有益な情報を掲載していますので、ぜひご活用ください。

女性活躍推進法「見える化」サイト [https://www.gender.go.jp/policy/suishin\\_law/index.html](https://www.gender.go.jp/policy/suishin_law/index.html)

## 採用関連Q&amp;A

皆さんからよくある質問の中で代表的なものをご紹介します。  
そのほかのご質問については、「内閣府総合職採用担当窓口」までお問合せください。  
※巻頭の「人事課採用担当対談」も併せてご確認ください。

## Q1 内閣府ではどのような人材が求められていますか？

内閣府は、内閣及び内閣総理大臣の主導による国政運営を実現するために設置された、内閣総理大臣を長とする機関です。各省より一段高い立場から、我が国の経済・社会の在り方そのものに関わる国政上の重要かつ最新の課題について、将来のビジョンをつくっていきます。よって、自分なりの強み、得意分野とともに、「将来展望をもって、国全体の在り方(全体最適)を考えることができる広い視野」、「物事の本質を捉え、最適な解決策を提案する能力」、「聴く力・話す力といったコミュニケーション能力」、「自らの能力を絶えず磨く姿勢」、「好奇心旺盛さや様々なことを経験したいという意欲」が求められます。ただし、内閣府で仕事をしているうちに、これらの力は自ずと磨かれていくでしょう。重要なのは、そうした力を持った自分になりたいという意欲や、新しい課題に取り組んでいくことのできる熱意です。

## Q2 出身大学や学部、試験区分などの違いは、採用の際にどのように影響するのですか？

幅広い分野を所掌する内閣府では、多様な専門性を持った職員が必要です。特定の大学・学部や試験区分に優先枠を設けたり、新卒/既卒の扱いを異にしたり、などということは一切行っておらず、あくまでも「人物本位」の採用を行っています。そのため、選考面接の際は、繕わない、「ありのままの自分」を見せていただきたいと思います。

## Q3 採用前にも内閣府の業務全体について幅広い知識が必要なのでしょうか？

内閣府の業務のうち、いくつかについてはあらかじめ興味を持ってほしいですが、採用の段階ですべてについて知っている必要はありません。それよりは、これまでどういう経験をし、何を考え、何を学んできたのかということの方が重要だと考えています。内閣府に入ってそれぞれの部局で必要となる各論的な知識や個々のスキルは、実際に仕事をしながら身に付けていくことになり、何でも積極的に学ぼうという姿勢を忘れない限り、たいいてい仕事にはすぐに対応できるようになります。

他方、内閣府で働くうえで大切にしなければならないのは、誰にも負けない自分の強みを持ち、絶えず磨きをかけていくということです。リーガルマインド、経済分析能力、人と人をつなげる力、ものごとをまとめ上げる力、何でも構いません。行政の内外から多様な優秀な人材が集まる内閣府で皆さんが先導的な役割を担っていく際に、そういった強みが助けとなってくれるはずです。

## Q4 総合職と一般職の職員の業務内容はどのように違うのですか？

総合職職員は政策の企画・立案や部局内の業務の取りまとめ、府内外との調整の前線に立つ業務に従事することが多く、一般職職員は総務、会計等の管理業務や事業の実施に係る業務に従事することが多い傾向にあります。ただし、その能力と適性に依りて、役割分担が行われています。

## Q5 採用後の配属先や人事異動はどのように決まるのですか？

配属先及び人事異動は、本人の希望を踏まえつつ、能力や適性、人材育成上の必要性なども総合的に考慮して決定されます。入府後、配属先に関する希望を申告する制度もありますので、試験区分などの採用時の属性のみでキャリアパスが決定することはありません。内閣府の業務は多岐にわたっており、自分の専門性に厚みを加え、自分の新しい可能性を広げるためにも、自分の得意分野に限らず、いろいろな分野に挑戦していくことを期待しています。

## Q6 転勤はあるのですか？

内閣府で採用された場合の勤務地は、基本的には東京都となります。一部には、海外や都外での勤務となるポストもありますが、本人の希望を踏まえて配属するもので、意に反して都外勤務となることはなく、生活設計を見通しやすい職場といえます。

## これまでの延長線上にない未来を描く

内閣府は、総理のリーダーシップを支える「知恵の場」として、2001年に設置されて以来、国の重要政策を担う司令塔として多様な分野の政策形成を主導してきました。

いま日本を取り巻く環境は大きく変化しています。長らくデフレに直面してきた日本経済は、継続する物価高の下でコストカット型経済から成長型経済への移行が求められています。パワーバランスの歴史的变化と地政学的競争が激化する中、自由で開かれた安定的な国際秩序を維持・強化しつつ、外的環境の変化に強い経済構造を構築していく必要もあります。また、本格的な人口減少や頻発する自然災害などがもたらす構造的な社会課題も山積しています。こうした中、これまでの延長線上ではなく、国民が「今日より明日はよくなる」と実感できる未来に向けた政策・制度作りを、内閣府職員が先頭に立って推進していくことが求められています。

本冊子で紹介している職員の経験や業務内容はその一端に過ぎません。職員一人ひとりが自らの強みである能力・スキルや専門知識を磨き、産官学等の幅広いネットワークを築きながら、時代とともに生じる社会課題の解決に挑んでいます。この冊子を手にして内閣府の仕事に関心を持たれた方は、ぜひ内閣府に足を運んでいただき、職員の仕事に対する熱意に触れていただければと思います。ともに刺激を受け、自らも成長できる環境を実感いただければと思います。

佐藤 鐘太 内閣府大臣官房人事課長  
杉田 和暁 内閣府大臣官房人事課参事官

## 総合職採用実績


※( )内は女性の数

区分/年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
院卒(行政)	4(2)	3(1)	1(0)	4(2)	1(1)	4(4)	3(1)	3(1)	5(3)
大卒(法律)	4(1)	4(2)	3(1)	6(2)	6(3)	4(2)	3(2)	0(0)	5(2)
大卒(経済)	2(2)	2(0)	6(1)	2(1)	3(1)	1(0)	4(2)	5(0)	1(0)
その他	3(0) 大卒(教養)2 大卒(化学・生物・薬学)1	4(1) 大卒(教養)1 院卒(人間科学)2 院卒(森林)1	4(2) 大卒(政治国際)2 大卒(教養)2	7(2) 大卒(政治国際)4 大卒(人間科学)1	7(2) 大卒(政治国際)2 大卒(教養)5	7(3) 大卒(政治国際)3 大卒(教養)2 大卒(人間科学)1 院卒(人間科学)1	9(3) 大卒(政治国際)1 大卒(教養)8	12(6) 大卒(政治国際)4 大卒(教養)4 大卒(数理学)1 大卒(デジタル)1 院卒(人間科学)2	10(3) 大卒(政治国際)1 大卒(教養)7 大卒(人間科学)1 院卒(数理学)1
計	13(5)	13(4)	14(4)	19(7)	17(7)	16(9)	19(8)	20(7)	21(8)


## 内閣府 総合職採用担当窓口


## 内閣府大臣官房人事課企画係


〒100-8914  
千代田区永田町1-6-1  
TEL 03-5253-2111 (内線 31322)

 内閣府ホームページ  
<https://www8.cao.go.jp/jinji/saiyo/index1.html>

ご質問等あれば、お気軽にお問合せください。

 ●総合職採用に関する情報は内閣府ホームページのほか、Xでも発信しています。  
内閣府 総合職採用担当 (@cao\_recruit)  
[https://x.com/cao\\_recruit](https://x.com/cao_recruit)

 ●内閣府では、業務内容やキャリアパス等に関する説明会を随時実施しています。  
内閣府採用情報(説明会案内ページ)  
<https://cao-recruit.snar.jp/index.aspx>

 ●内閣府の組織や業務の概要について、わかりやすく説明する動画を作成しました。  
ぜひご覧ください!  
【内閣府紹介動画】4分でわかる内閣府  
<https://www.youtube.com/watch?v=n4FHR78yUw>